

# 中橋徳五郎関係文書目録

2024年2月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています  
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」  
(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/kensei/>)

## 凡例

- 書簡と書類に大別し、書簡は差出人別、年代順に配列した。
- 書類は日記、政治関係、賞状・辞令、伝記編纂関係、写真、その他に分け、おおむね原秩序の順に配列した。
- 原資料の記載にはなく、目録作成時に記載した事項には〔 〕を付した。

目次

中橋徳五郎関係文書

- └ 第1次受入分(資料番号1)
  - └ 中橋狸庵翁書簡
- └ 第2次受入分(資料番号2～182)
  - └ 1. 書簡(資料番号2～39)
    - └ 1-1. 中橋徳五郎宛書簡(資料番号2～15)
    - └ 1-2. 中橋徳五郎書簡(資料番号16～22)
    - └ 1-3. 中橋武一関係書簡(資料番号23～38)
    - └ 1-4. その他書簡(資料番号39)
  - └ 2. 日記・覚書(資料番号40～56)
  - └ 3. 政治関係書類(資料番号57～89)
  - └ 4. 賞状・辞令等(資料番号90～119)
  - └ 5. 中橋徳五郎翁伝記編纂会関係書類(資料番号120～136)
  - └ 6. 写真(資料番号137～157)
  - └ 7. その他(資料番号158～182)
    - └ 7-1. 著作・刊行物等(資料番号158～175)
    - └ 7-2. 中橋武一関係書類(資料番号176～181)
    - └ 7-3. その他(資料番号182)

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
<b>第1次受入分(資料番号1)</b>					
1	中橋狸庵翁書簡				<b>数量</b> 1巻
(1-1)	序	稲垣伸太郎		(昭和12年)	<b>数量</b> (1点) <b>内容</b> 中橋徳五郎・島田定知(暁舟)の経歴、書簡の経緯等 <b>記述法</b> 墨書
(1-2)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕	2月1日	<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 議会は万一の場合には解散を為す覚悟。牧野氏立候補となれば適当なる秘書役一名必要、ご相談。 <b>記述法</b> 墨書
(1-3)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕	5月26日	<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 武一(徳五郎長男)も経過一切承知。其の他書類拝見。挨拶状下書き御覧下されたい。 <b>記述法</b> 墨書
(1-4)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕	12月1日	<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 総裁邸に於て幹部会開催、復党問題は総裁の一存にて決すべきものと決定。 <b>記述法</b> 墨書
(1-5)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕	10月20日	<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 吉田君へ支部の服部一郎君よりも報告。 <b>記述法</b> 墨書
(1-6)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕		<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 河津深三郎君来訪、とかく嶋田君に御相談するよう話したので宜しく取計らい願う。 <b>記述法</b> 墨書
(1-7)	中橋徳五郎書簡 島田定知宛	中橋徳五郎	〔島田定知〕	2月27日	<b>数量</b> (1通) <b>内容</b> 既に御帰坂の事と察す。幸いに当選を謝す。再会拝晤の節まで。 <b>記述法</b> 墨書
(1-8)	〔俳句(大磯元旦)〕	〔中橋徳五郎〕			<b>数量</b> (1点) <b>内容</b> 俳句1句 <b>記述法</b> 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
<b>第2次受入分(資料番号2～182)</b>					
1. 書簡(資料番号2～39)					
<b>1-1. 中橋徳五郎宛書簡(資料番号2～15)</b>					
2	一木喜徳郎書簡 中橋徳五郎宛	一木喜徳郎 (宮内大臣)	中橋徳五郎 (商工大臣)	昭和3年10月7日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 清酒一打、苹果一籠思召により下賜。 <b>記述法</b> 墨書
3	稲田龍吉書簡 中 橋徳五郎宛	稲田龍吉	中橋徳五郎	4月8日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 尿の所見。腎臓には故障を見出さず。 <b>記述法</b> ペン
4	賀古桃次書簡 中 橋徳五郎宛	賀古桃次	中橋徳五郎	大正2年5月2日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 熱海の妹(久子)お世話になる。 <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 葉書
5	国府種徳書簡 中 橋徳五郎宛	国府種徳	〔中橋徳五郎〕(芳草閣主)	3月4日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 御下諭の芳草閣記蒟蒻版に摺り御左右に。斧正を願う。其上で浄写して扁額か幅物に。 <b>記述法</b> 墨書
6	小久保喜七書簡 中橋徳五郎宛	小久保喜七	中橋徳五郎	〔昭和6年〕9月16日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 栃木県出張中御令息謹二君に邂逅。政治家として成功の資質を具備すると見受ける。 <b>付属資料</b> 中橋徳五郎書簡 小久保宛(9月22日)、1通 <b>記述法</b> 墨書
7	〔濟生会通知〕	島田剛太郎 (恩賜財団濟生会理事長)	中橋徳五郎	大正9年6月22日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 本会評議員解職に依り別紙解嘱書及び謝状送付。 <b>付属資料</b> (1)辞令(濟生会総裁貞愛親王)、1枚／(2)謝状(濟生会会長徳川家達)、1枚／(3)記念褒章又ハ記念章等ヲ賜ハリタル者届出心得(賞勲局)、1枚 <b>記述法</b> 墨書
8	〔濟生会感謝状〕	徳川家達(恩賜財団濟生会会長)	中橋徳五郎	大正9年7月20日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 寄贈につき謝意を表す。 <b>付属資料</b> 賞状(貞愛親王・徳川家達 中橋徳五郎宛、大正8年6月20日)、1枚 <b>記述法</b> 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
9	高橋是清書簡 中橋徳五郎宛	高橋是清(内閣総理大臣)	中橋徳五郎(文部大臣)	〔大正10年〕1月25日	数量 1通 内容 摂政殿下より賜りたる令旨、別紙のとおり。 記述法 印刷
10	珍田捨巳書簡 中橋徳五郎宛	珍田捨巳(侍従長)	中橋徳五郎(商工大臣)	昭和3年8月7日	数量 1通 内容 鮎三十尾両陛下思召により下賜。 記述法 墨書
11	中村雄次郎書簡 中橋徳五郎宛	中村雄次郎(南満州鉄道株式会社総裁)	中橋徳五郎	大正5年12月28日	数量 1通 内容 今般の御辞任遺憾。花瓶一对贈呈。 記述法 墨書
12	前田正名書簡 中橋徳五郎宛	前田正名・市子	中橋徳五郎・悦子	大正2年1月31日	数量 1通 内容 旅行中のこと他。 記述法 墨書
13	源明道書簡 中橋徳五郎宛	源明道	中橋徳五郎	昭和3年7月30日	数量 1通 内容 崇敬の誠意を表し別紙遺訓御高覧給われれば光栄。 付属資料 西郷南州先生遺訓(源明道書) 記述法 墨書
14	宮原正喬書簡 中橋徳五郎宛	宮原正喬	中橋徳五郎	10月27日	数量 1通 内容 貴諭により別紙差上げ候 記述法 墨書
15	横田千之助書簡 中橋徳五郎宛	横田千之助	中橋徳五郎	大正5年5月28日	数量 1通 内容 村野氏の件。一昨日交付を了し別紙証書を受取りにつき回付。 付属資料 受領証(大正5年5月26日、村野常右衛門)、1枚 記述法 墨書

1-2. 中橋徳五郎書簡(資料番号16~22)

16	中橋徳五郎書簡草稿 伊藤博文宛	中橋徳五郎	伊藤博文	〔明治32年〕1月29日	数量 1通 内容 東洋航路に関する愚見 記述法 墨書 備考 草稿
17	斎藤半六宛書簡				
17-1	中橋徳五郎書簡(草稿) 斎藤半六宛	中橋徳五郎	斎藤半六	大正14年7月27日	数量 1通 内容 家門の名誉、敬意を表する 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
17-2	中橋徳五郎書簡 斎藤半六宛	〔中橋徳五郎〕	〔斎藤半六〕		数量 1通 内容 二白。日米戦争あるやもしれず三年在職しては如何 記述法 墨書
18	中橋徳五郎書簡 谷村庄平宛	中橋徳五郎	谷村庄平	〔大正14年〕1月18日	数量 1通 内容 支部に於ける報告多少行違いあり 記述法 墨書
19	中橋徳五郎書簡 谷村庄平宛	中橋徳五郎	谷村庄平	〔大正2年〕11月17日	数量 1通 内容 三十五日法会の件 記述法 墨書
20	中橋徳五郎書簡 戸水寛人宛	中橋徳五郎	戸水寛人	〔大正2年〕12月2日	数量 1通 内容 増師問題延期、政友会もこれにて助命 記述法 墨書
21	中橋徳五郎書簡 中橋武一宛	中橋徳五郎	中橋武一	1月26日	数量 1通 内容 五百円を嶋田君に渡されたい 記述法 墨書
22	中橋徳五郎書簡 中橋武一宛	中橋徳五郎	中橋武一	6月7日	数量 1通 内容 株売却の件。 記述法 墨書

**1-3. 中橋武一  
関係書簡(資料番号23~38)**

23	芦田均書簡 中橋武一宛	芦田均	中橋武一	10月30日	数量 1通 内容 工場敷地買入れの件で柳原麗一を紹介依頼 記述法 墨書
24	影山銑三郎書簡 中橋武一宛	影山銑三郎	中橋武一	2月10日	数量 1通 内容 矢吹省三氏二男禎男氏の人物紹介、写真送付 記述法 墨書
25	影山銑三郎書簡 中橋武一宛	影山銑三郎	中橋武一	〔昭和18年〕5月15日	数量 1通 内容 矢吹氏御夫妻連名の書状、写を高覧に供す 記述法 墨書
26	九鬼縫子書簡 中橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	昭和18年6月13日	数量 1通 内容 四番町御新宅、清水辰男君のこと 記述法 墨書
27	九鬼縫子書簡 中橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	2月17日	数量 1通 内容 矢吹さん三男(禎男氏)、先生たちの評判 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
28	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	2月18日	数量 1通 内容 小池氏令嬢写真の件、お返事 記述法 ペン
29	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	2月22日	数量 1通 内容 母の代筆、矢吹・清水両氏の件 記述法 ペン
30	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	4月30日	数量 1通 内容 矢吹さんの件 記述法 ペン
31	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	〔昭和18年〕5 月31日	数量 1通 内容 学校聞合せの件 付属資料 池田吉彰履歴書、1枚 記述法 墨書
32	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	7月17日	数量 1通 内容 敬二郎さん改姓の件 記述法 ペン
33	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	7月17日	数量 1通 内容 謹二、海軍省訪問の件 記述法 ペン
34	九鬼縫子書簡 中 橋武一宛	九鬼縫子	中橋武一	8月11日	数量 1通 内容 西脇さんのこと、敬二郎養子の件ほか 記述法 ペン
35	小池卯一郎書簡 中橋武一宛	小池卯一郎	中橋武一	〔昭和18年〕1 月23日	数量 1通 内容 婿の件、故児玉源太郎孫・和彦氏の経 歴ほか 記述法 墨書
36	国府種徳書簡 中 橋武一宛	国府種徳	中橋武一	5月31日	数量 1通 内容 錦地立寄りの節、倫敦にて貴紳の書齋 に迎えられた心地。 記述法 墨書
37	床次竹二郎書簡 中橋武一宛	床次竹二郎	中橋武一	〔昭和10年〕3 月28日	数量 1通 内容 御尊父様一周忌御品御恵与の御礼 記述法 墨書
38	西川吉太郎書簡 村野藤吾宛	西川吉太郎	村野藤吾	2月3日	数量 1通 内容 従弟西川秀夫君の件。人柄、家風等 記述法 ペン



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
------	------	-----	----	-----	--------

1-4. その他書簡(資料番号39)

39	福井三郎書簡 元田肇宛	福井三郎	元田肇	2月6日	数量 1通 内容 閣下固より領袖の器にあらず、速やかに閑居せよ 記述法 墨書
----	-------------	------	-----	------	----------------------------------------------

2. 日記・覚書(資料番号40~56)

40	〔大正10年11月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正10年11月〕	数量 1綴 内容 大正10年11月4日~11月29日の記録 記述法 墨書
41	〔大正10年12月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正10年12月〕	数量 1綴 内容 大正10年12月6日~12月31日の記録 記述法 墨書
42	〔大正11年1月日記〕	〔中橋徳五郎〕		大正11年1月	数量 1綴 内容 大正11年1月2日~1月7日の記録 記述法 墨書
43	〔大正11年3月~4月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年3月〕	数量 1綴 内容 大正11年3月24日~4月28日の記録 記述法 墨書
44	〔大正11年5月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年5月〕	数量 1綴 内容 大正11年5月16日~5月30日の記録 記述法 墨書
45	〔大正11年6月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年6月〕	数量 1綴 内容 大正11年6月6日~6月17日の記録 記述法 墨書
46	〔大正11年6月・7月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年6月・7月〕	数量 1綴 内容 大正11年6月20日~7月4日の記録 記述法 墨書
47	〔大正11年7月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年7月〕	数量 1綴 内容 大正11年7月9日~7月21日の記録 記述法 墨書
48	〔大正11年8月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年8月〕	数量 1綴 内容 大正11年8月1日~8月31日の記録 記述法 墨書
49	〔大正11年9月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年9月〕	数量 1綴 内容 大正11年9月1日~9月30日の記録 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
50	〔大正11年10月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年10月〕	数量 1綴 内容 大正11年10月4日～10月30日の記録 記述法 墨書
51	〔大正11年11月・12月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年11月・12月〕	数量 1綴 内容 大正11年11月1日～12月2日の記録 記述法 墨書
52	〔大正11年12月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年12月〕	数量 1綴 内容 大正11年12月3日～12月11日の記録 記述法 墨書
53	〔大正11年12月～大正12年1月日記〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正11年12月・大正12年1月〕	数量 1綴 内容 大正11年12月28日～大正12年1月10日の記録 記述法 墨書
54	封筒入り日記				
54-1	〔封筒〕				数量 1点 合綴注記 資料番号54-2を収納
54-2	〔日記抜粋〕	〔中橋徳五郎〕		大正10年・11年	数量 1綴 内容 大正10年11月12日～大正11年6月7日の記録 記述法 墨書
55	封筒入り覚書				
55-1	〔封筒〕				数量 1点 記述法 墨書 合綴注記 資料番号55-2～55-4を収納
55-2	〔大正12年8月覚書〕	〔中橋徳五郎〕		大正12年8月	数量 1綴 内容 大正12年8月1日～8月17日の覚書 記述法 ペン
55-3	〔大正12年9月・10月覚書〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正12年9月・10月〕	数量 1綴 内容 大正12年9月1日～10月1日の覚書 記述法 ペン
55-4	〔大正12年10月覚書〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正12年10月〕	数量 1綴 内容 大正12年10月3日～10月31日の覚書 記述法 ペン
56	〔断片〕	〔中橋徳五郎〕		〔大正9年12月6日〕	数量 1枚 内容 内相私邸訪問、撤回の報告 記述法 墨書 備考 日付は『中橋徳五郎』上巻による

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
3. 政治関係書類 (資料番号57～89)					
57	挽回金城衰替策	〔中橋徳五郎〕		明治14年2月 (稿)	数量 1綴 内容 金沢の振興策について 記述法 墨書 備考 漢文
58	〔辞表(示稿ノ一)〕	〔南弘〕			数量 1枚 内容 現下の政情を以て輔弼の重任を完うし得ず 記述法 墨書 備考 封筒入
59	〔辞表〕	中橋徳五郎 (文部大臣)		大正10年11月 5日	数量 2枚 記述法 墨書 用紙 内閣用箋
60	大正十一年五月二日閣議席上ニ於ケル中橋文相ノ意見				数量 1綴 内容 内閣改造は不要 記述法 墨書 備考 朱書「保存」とあり
61	大正十一年五月三日閣議席上ケル中橋文相問答書				数量 1綴 内容 内閣改造につき首相(高橋是清)との応答 記述法 墨書 備考 朱書「保存」とあり
62	大正十一年五月二十五日総理官邸ニ於テ総理ト面談				数量 1綴 内容 今後の方針につき首相との応答 記述法 墨書 備考 朱書「保存」とあり
63	〔覚書綴〕				数量 1綴 内容 閣議秘密漏洩の件、党の決議違背除名の件ほか 記述法 墨書 備考 朱書「保存」とあり
64	決議	立憲政友会議員總會		大正11年6月5日	数量 1枚 内容 大正11年6月の政局問題について総裁一任 付属資料 (1)申合(立憲政友会党務員会)、1枚／(2)申合(立憲政友会有志代議士会、衆議院用箋)、1枚 記述法 墨書 用紙 立憲政友会本部用箋 備考 封筒入、朱書「保存」とあり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
65	人心安定			5月	数量 1綴 内容 人心安定に係る施策 記述法 墨書
66	〔覚書〕				数量 1綴 内容 外交政策等 記述法 墨書 備考 前欠
67	〔辞表〕	中橋徳五郎 (内務大臣)		昭和7年1月8日	数量 同文2枚 内容 内務大臣辞表 付属資料 要点(昭和4年9月28日、福井三郎より入手)、1通 記述法 墨書 備考 封筒入
68	〔覚書〕				数量 4枚 内容 政友会除名から政友本党結成の経緯 記述法 墨書
69	〔草稿〕				数量 2枚 内容 覚書等 付属資料 名刺(中橋徳五郎、メモ書きあり)、1枚 記述法 墨書 備考 封筒入、前欠
70	〔覚書(草稿)〕			〔大正11年〕	数量 1綴 内容 各県支部の状況報告、元田肇ら除名の件等 記述法 墨書 備考 草稿とみられる
71	〔覚書〕			〔大正11年〕	数量 同文2部 内容 各県支部の状況報告、元田肇ら除名の件等 記述法 印刷〔謄写〕 備考 清書版とみられる
72	〔覚書〕			〔大正11年〕	数量 1綴 内容 近畿、九州等の各県支部の状況報告 記述法 墨書
73	北信大会石川富山 二県不参加顛末			〔大正11年〕	数量 1綴 内容 北陸の状況報告 記述法 墨書
74	〔封筒〕				数量 1点 記述法 墨書 備考 表書に「復党問題各地報告」

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
75	〔封筒〕				数量 1点 記述法 墨書 備考 表書に「大正十四年一月以降覚書」
76	〔封筒〕				数量 1点 記述法 墨書 備考 表書に「山県公意見書并二之ニ対スル措致報告書」
77	〔原稿〕				数量 1綴 内容 大戦終結後の思想問題、教育予算等 記述法 ペン
78	〔原稿〕				数量 1綴 内容 大戦終結後の思想、教育等の施策 記述法 墨書 用紙 文部省罫紙 備考 表書に「第一」
79	〔原稿〕				数量 1綴 内容 大戦終結後の思想、教育等の施策 記述法 印刷 [蒟蒻版]
80	中橋氏演説			〔大正13年〕	数量 1綴 内容 山本、清浦内閣の成立、憲政擁護運動等 付属資料 既成政党の傾向、1綴 記述法 印刷 [謄写]
81	中橋氏演説			〔大正13年〕	数量 1綴 内容 山本、清浦内閣の成立、護憲運動等 記述法 印刷 [謄写]
82	第三十八議会報告書	中橋徳五郎		大正6年3月	数量 1冊 内容 日誌、報告書、速記録摘録 記述法 印刷
83	〔西園寺公望報告書〕	西園寺公望	原敬(内閣総理大臣)	大正8年8月29日	数量 1綴 内容 パリ講和会議の経過并に結果の概要、27日奏上の写を添え御報告 記述法 印刷 [蒟蒻版] 備考 表紙に「極秘」
84	金融政策二対スル私見	高橋是清		大正8年10月	数量 1綴 内容 通貨と物価との関係ほか諸論点 記述法 印刷 備考 表紙に「秘」印あり
85	内外国策私見	高橋是清		大正9年9月(稿)	数量 1綴 内容 対支要求の緩和、参謀本部廃止ほか 記述法 印刷 備考 表紙に「秘」あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
86	新政党の政綱政策 (未定稿)			大正15年8月	数量 1綴 内容 富の分配の変更、税制改革ほか 記述法 印刷 備考 表紙に貼紙あり
87	〔推薦状準備案ほか〕				数量 9綴 内容 「推薦状準備案」「第三者として選挙応援に関する質問事項」「第三者の応援演説に関する事項」ほか 記述法 印刷 備考 内容物の重複あり
88	〔石川県内の党派調書〕				数量 1綴 内容 「各種名誉職ノ党派別概況」ほか、市町村議会議員の党派等 付属資料 便箋、1枚 記述法 印刷
89	〔選挙関連スクラップ〕				数量 1綴 内容 石川県内の動静、中橋徳五郎の動向等に係る新聞記事切抜 記述法 印刷

4. 賞状・辞令等  
(資料番号90～119)

90	仮証書	龍峰小学	斎藤徳五郎	明治6年11月15日	数量 1枚 内容 下等小学第五級卒業 記述法 印刷
91	仮証書	仙石町小学	斎藤徳五郎	明治7年7月	数量 1枚 内容 下等小学教科卒業 記述法 印刷
92	〔賞状〕	石川県	斎藤徳五郎	明治7年8月17日	数量 1枚 内容 輿地誌略初篇、詔令集を賞与 記述法 印刷
93	証書	石川県師範学校	斎藤徳五郎	明治8年7月17日	数量 1枚 内容 上等小学第八級卒業 記述法 印刷
94	証書	巽中学校	斎藤徳五郎	明治8年12月	数量 1枚 内容 中学下等第六級卒業 記述法 印刷
95	証書	百々女木小学校	斎藤半六	明治9年4月6日	数量 1枚 内容 下等小学第八級卒業 記述法 印刷

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
96	〔卒業証書〕	石川県専門学校	斎藤徳五郎	明治14年7月31日	数量 1枚 内容 文学科卒業 記述法 印刷
97	〔退学通知書〕	東京大学	斎藤徳五郎	明治16年11月2日	数量 1枚 内容 去月27日の暴行に関与、退学を申付け 記述法 墨書 用紙 東京大学野紙
98	〔再入学関係書類等綴〕			明治16年・17年	数量 1綴 内容 再入学許可願、留学生採用願ほか 記述法 墨書
99	〔通知書〕	増島六一郎ほか4名	中橋徳五郎	明治19年4月14日	数量 1通 内容 点取論文優等の賞与を謹呈 記述法 墨書
100	〔委嘱状〕	威仁親王(帝国海事協会総裁)	中橋悦子	明治38年6月20日	数量 1通 内容 帝国海事協会大阪府婦人部委員を嘱託 記述法 墨書
101	〔委嘱状〕	大谷光瑞(真宗本願寺派護持会財団設立者・真宗本願寺派本願寺門跡)	中橋徳五郎	明治43年9月15日	数量 1枚 内容 真宗本願寺派護持会財団評議員を嘱託 記述法 墨書 用紙 本願寺用箋
102	〔委嘱状〕	大谷光瑞(真宗本願寺派護持会財団設立者・真宗本願寺派本願寺門跡)	中橋徳五郎	明治43年9月15日	数量 1枚 内容 真宗本願寺派護持会財団常務員を嘱託 記述法 墨書 用紙 本願寺用箋
103	〔賞状〕	貞愛親王(大日本武徳会総裁)	中橋徳五郎	明治44年9月15日	数量 1枚 内容 一等有功章を授与 記述法 墨書
104	〔委嘱状〕	依仁親王(海事水産博覧会総裁)	中橋徳五郎	大正4年10月15日	数量 1枚 内容 海事水産博覧会顧問を嘱託 記述法 墨書
105	〔賞状〕	恒久王(忠勇顕彰会総裁)・九鬼隆一(忠勇顕彰会会頭)	中橋徳五郎	大正4年11月19日	数量 1枚 内容 二等功労章を贈与 記述法 墨書
106	衆議院議員当選証書	土岐嘉平(石川県知事)	中橋徳五郎	大正5年12月20日	数量 1枚 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
107	衆議院議員当選証書	土岐嘉平(石川県知事)	中橋徳五郎	大正6年4月23日	数量 1枚 記述法 墨書
108	〔賞状〕	明石元二郎(台湾総督)	中橋徳五郎	大正7年9月1日	数量 1枚 内容 大正2年台湾蕃匪討伐の際の寄附 記述法 墨書
109	〔賞状〕	児玉秀雄(賞勲局総裁)	中橋徳五郎	大正8年2月20日	数量 1枚 内容 大正6年10月風水害の罹災窮民へ賑恤 記述法 墨書
110	〔賞状〕	児玉秀雄(賞勲局総裁)	中橋徳五郎	大正8年5月24日	数量 1枚 内容 臨時教育会議に関し尽力、旭日重光章授与 記述法 墨書
111	〔依頼文書〕	田中兵太郎(大阪市北区長)	中橋徳五郎	大正9年5月10日・11日	数量 2通 内容 (1)議院要覧編纂のため履歴・写真の提出依頼/(2)当選承諾書の提出依頼 記述法 墨書 用紙 大阪市北区役所用箋 備考 封筒入り
112	衆議院議員当選告知書	田中兵太郎(大阪市北区長)	中橋徳五郎	大正9年5月11日	数量 1枚 記述法 墨書 用紙 大阪市北区役所用箋
113	衆議院議員当選証書	池松時和(大阪府知事)	中橋徳五郎	大正9年5月14日	数量 1枚 記述法 墨書
114	〔位記〕	中村雄次郎(宮内大臣)	中橋徳五郎	大正9年10月1日	数量 1枚 内容 従三位に叙す 記述法 墨書
115	第一回国勢調査記念章之証	児玉秀雄(賞勲局総裁)ほか2名	中橋徳五郎	大正10年7月1日	数量 1枚 内容 記念章を授与 記述法 墨書
116	〔辞令〕	内閣	中橋徳五郎(商工大臣)	昭和2年7月19日	数量 1枚 内容 資源審議会副総裁 記述法 墨書
117	〔辞令〕	内閣	中橋徳五郎(商工大臣)	昭和3年9月7日	数量 1枚 内容 経済審議会副会長 記述法 墨書
118	〔賞状〕	天岡直嘉(賞勲局総裁)	中橋徳五郎	昭和3年11月10日	数量 1枚 内容 金杯老箇下賜 記述法 墨書
119	〔辞令〕	浜口雄幸(内閣総理大臣)	中橋徳五郎(商工大臣)	昭和4年7月2日	数量 1枚 内容 依願免本官 記述法 墨書



資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
5. 中橋徳五郎翁 伝記編纂会関係書 類(資料番号120 ～136)					
120	中橋徳五郎氏略伝			昭和10年	数量 1冊 内容 中橋徳五郎一周忌追悼会で頒布した略 伝記 記述法 印刷
121	中橋徳五郎翁伝索 引				数量 1綴 内容 伝記目次の草稿 記述法 ペン 用紙 中橋徳五郎翁伝記編纂会用箋
122	中橋徳五郎翁座談 会要録			昭和13年11月 16日	数量 1綴 内容 武部欽一・武部六蔵らによる座談会の 要録 記述法 ペン 用紙 中橋徳五郎翁伝記編纂会用箋
123	翁の外交意見(小 幡西吉談)	小幡西吉			数量 1綴 内容 中橋の意見を語った草稿 記述法 ペン 用紙 中橋徳五郎翁伝記編纂会用箋
124	農商務省参事官時 代に於ける中橋翁	原嘉道(談)		昭和12年4月2 日	数量 1綴 内容 鉱業条例の制定、原敬との関係等 記述法 ペン 用紙 中橋徳五郎翁伝記編纂会用箋 備考 藤井筆記
125	中橋武一氏談話	中橋武一		昭和12年2月8 日	数量 1綴 内容 紳士の要素、父の読書方法等 記述法 ペン 用紙 中橋徳五郎翁伝記編纂会用箋 備考 藤井筆記
126	〔履歴資料〕				数量 1綴 内容 斎藤家及び中橋家の謄本等 付属資料 送り状(昭和12年3月26日、金沢 市役所、武部欽一宛)、1枚 記述法 印刷
127	〔覚書〕				数量 1綴 内容 「姓氏家系大辞典」第3巻中橋氏の項 抜粋 記述法 ペン 用紙 株式会社大阪ビルヂング用箋

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
128	中橋徳五郎翁伝記 編纂会規則 附 役員名簿並設立経 過概要	中橋徳五郎翁 伝記編纂会			<b>数量</b> 2部 <b>内容</b> 編纂会規則、役員名簿等。1部には手 書きの名簿あり。 <b>記述法</b> 印刷
129	中橋徳五郎書簡 籠田信次・河合辰 太郎宛	斉藤(中橋徳 五郎)	籠田信次・河 合辰太郎	〔明治16年〕5 月30日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 県会解散の件、政党の近況等 <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入り
130	〔中橋徳五郎断 簡〕	〔中橋徳五 郎〕	河合辰太郎	〔大正7年〕	<b>数量</b> 1通 <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 後欠。中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入 り
131	中橋徳五郎書簡 河合辰太郎宛	中橋徳五郎	河合辰太郎	〔大正8年〕11 月8日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 奥田兄よりの手紙のこと <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入り
132	奥田頼太郎書簡 河合辰太郎宛	〔奥田頼太 郎〕	麻水(河合辰 太郎)	3月1日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 戸水、中橋のこと等 <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入り
133	早川千吉郎書簡 河合辰太郎宛	早川千吉郎	河合辰太郎	〔明治16年〕1 月7日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 政党樹立等 <b>記述法</b> 墨書 <b>備考</b> 中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入り
134	〔メモ〕				<b>数量</b> 2枚 <b>内容</b> 農商務省各局の配置等 <b>記述法</b> 鉛筆 <b>備考</b> 中橋徳五郎翁伝記編纂会封筒入り
135	田中铁吉書簡 八 田三喜宛	田中铁吉	八田三喜	2月3日	<b>数量</b> 1通 <b>内容</b> 金沢の斎藤氏宅の所在地 <b>付属資料</b> 地図、1枚 <b>記述法</b> ペン
136	〔金沢城下地図〕				<b>数量</b> 1枚 <b>記述法</b> 墨書

6. 写真(資料番  
号137~157)

137	写真(中橋徳五郎 (青年期))			明治19年4月	<b>数量</b> 1枚 <b>付属資料</b> 封筒、1点 <b>記述法</b> 写真
-----	--------------------	--	--	---------	----------------------------------------------------

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
138	写真板(中橋徳五郎(壮年期))				数量 1点 記述法 写真 備考 木板
139	写真板(中橋徳五郎(壮年期))				数量 1点 記述法 写真 備考 金属板
140	写真(中橋徳五郎(老年期)ほか)				数量 1枚 記述法 写真
141	写真(中橋徳五郎(老年期)ほか)				数量 同版3枚 記述法 写真
142	写真(中橋武一(青年期))				数量 1枚 記述法 写真
143	写真(中橋武一(青年期)ほか)				数量 1枚 記述法 写真
144	写真(中橋武一(青年期))				数量 1枚 記述法 写真
145	写真(中橋武一(青年期))				数量 1枚 記述法 写真
146	写真(中橋武一(青年期))				数量 1枚 記述法 写真
147	写真(中橋武一(老年期))				数量 1枚 記述法 写真
148	写真(中橋武一(老年期))				数量 1枚 記述法 写真
149	写真(中橋武一(老年期)ほか)				数量 1枚 記述法 写真
150	写真(中橋武一(老年期)ほか)		小原謙太郎	5月27日	数量 1枚 記述法 写真 用紙 ポストカード
151	写真(集合写真)				数量 1枚 記述法 写真
152	写真(集合写真)				数量 1枚 記述法 写真
153	写真(集合写真)				数量 1枚 記述法 写真
154	写真(風景)				数量 1枚 記述法 写真

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
155	写真(人物不明)				数量 1枚 記述法 写真
156	写真(人物不明)				数量 1枚 記述法 写真
157	写真(人物不明)				数量 1枚 記述法 写真

7. その他(資料番号158~182)

**7-1. 著作・刊  
行物等(資料番号  
158~175)**

158	芳草閣記	犀東国府種徳		大正12年2月26日	数量 同文2綴 内容 芳草閣の命名の由来 記述法 印刷 [蒟蒻版] 備考 芳草閣は大阪の中橋邸宅
159	OSAKA AS A FREE-TRADE PORT: ALSO AS THE NATIONAL CAPITAL OF JAPAN	NAKHASHI, TOKUGORO		1900年	数量 1冊 内容 英文著作 記述法 印刷
160	FINANCIAL STANDING OF JAPAN	NAKHASHI, TOKUGORO		1900年	数量 1冊 内容 英文著作 記述法 印刷
161	STABILITY OF THE NATIONAL FINANCES OF JAPAN	NAKHASHI, TOKUGORO		1904年	数量 1冊 内容 英文著作 記述法 印刷
162	憲政 臨時号	憲政会		大正13年2月7日	数量 1部 内容 議会の解散に対する声明、加藤総裁の演説等 記述法 印刷
163	大正日報 第161号	大正日報社		昭和2年12月13日	数量 1部 内容 淀川佐岸水防委員選挙等 記述法 印刷
164	〔祝詞〕	宮原正喬(神宮神部署長)		大正7年12月12日	数量 1綴 内容 原敬内閣の文部大臣着任にあたり祝詞 記述法 墨書
165	売薬営業整備二付キ陳情書(経歴一端)	岩田大中	藤井得三郎(東京売薬組合理事長)	昭和17年11月30日	数量 1綴 内容 企業統合の例外を求める陳情、経歴等 記述法 印刷

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
166	加越能郷友録			大正11年12月	数量 1冊 内容 住所録 記述法 印刷 備考 加越能時報第368号附録
167	加越能出身懇親会 会員名簿			大正12年2月	数量 1冊 内容 住所録 記述法 印刷
168	京阪神金石会会員 名簿	直木栄松(金 石会幹事)		大正14年8月	数量 1冊 内容 住所録 記述法 印刷 備考 末尾に書込みあり
169	会員名簿	三泉石川県人 会		昭和元年12月	数量 1冊 内容 住所録 記述法 印刷
170	〔日本思想研究会 報〕	日本思想研究 会		昭和17年6月	数量 1綴 内容 白鳥庫吉「世界維新」等 記述法 印刷 備考 表紙欠
171	日本思想研究会報 第七輯	日本思想研究 会		昭和17年9月	数量 1綴 内容 石井溥通「御神勅と国体観」等 記述法 印刷
172	〔戊申詔書〕			明治41年10月 13日	数量 1枚 内容 上下で心を一つに忠実に業務に服すべし 記述法 印刷
173	〔教育勅語 漢英 仏独訳（断片）〕	文部省		明治42年12月	数量 2枚 内容 文部省による緒言、教育勅語翻訳等 記述法 印刷 備考 後欠
174	〔漢文〕				数量 1枚 内容 海外浪遊十四年…云々。揮毫か。 記述法 墨書
175	〔空封筒〕				数量 1点 備考 「出問事項」とペン書あり

**7-2. 中橋武一  
関係書類(資料番  
号176~181)**

176	弔詞	熊谷栄次(社 団法人大阪俱 楽部理事長)	中橋勉	昭和38年7月9 日	数量 1通 内容 顧問中橋武一逝去の弔辞、感謝と哀悼 の意 記述法 墨書
-----	----	----------------------------	-----	---------------	-----------------------------------------------

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
177	弔辞	阿部孝次郎 (関西経済連 合会会長)		昭和38年7月1 1日	数量 1点 内容 創立者・中橋武一への弔辞 記述法 墨書
178	弔辞	工藤友恵(大 阪建物株式会 社社長)		昭和38年7月1 1日	数量 1点 内容 会長・中橋武一への弔辞 記述法 墨書
179	弔辞	渡辺斌衡(日 本電気株式会 社社長)		昭和38年7月1 1日	数量 1点 内容 元取締役・中橋武一への弔辞 記述法 墨書
180	〔図案〕	尚美堂速水	中橋会長		数量 2枚 内容 スプーンの図案 記述法 ペン
181	〔空封筒〕	大阪建物株式 会社			数量 1点 内容 「昭和二十一年四月十日役員会」と書 込みあり

**7-3. その他  
(資料番号182)**

182	〔木箱〕				数量 1点 内容 縦70cm×横25cm程度(外寸)、蓋付き の収納箱 記述法 墨書 備考 蓋の表裏に書き込みあり 合綴注記 資料番号2~181を収納していた 箱
-----	------	--	--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------